

Pharmaceutical Industry Forum

PIフォーラム

医薬品産業情報研究会

ご挨拶

会 長
藪 根 英 典

(EAファーマ株式会社 代表取締役社長)



この度、新しく医薬品産業情報研究会 (PI フォーラム) の会長職を務めるにあたりご挨拶をさせていただきます。

PI フォーラムは、医薬品専門メーカー以外の異業種から医薬品・医療関連産業に参入を目指す企業により、1991年1月に結成され30年以上の歴史があります。当初17社だった会員企業数は現在33社に増え各々がユニークな強みを持つ企業の集まりです。PI フォーラムでは当研究会の活動の基幹である定例研究会のほか、2つの委員会 (医薬事業、研究開発)、そして9つの分科会 (品質保証、安全性、臨床開発、PMS、薬事、ヘルスケア、薬価、生産、制度勉強会) を通じて多岐にわたる活動を展開しています (2024年7月時点)。

当会の発足時よりご指導、ご支援をいただいている厚生労働省をはじめとする行政機関および会員企業間での「顔の見える関係性」で自由闊達に議論できる環境は、発足時から続くPI フォーラムならではの素晴らしい風土であり、幹事会社として更なる活動推進、関係各所との連携強化を進めPI フォーラムを一層充実したものにするべく取り組んでいく所存です。

昨今の医薬品・医療業界は、人口減少と超高齢化社会の到来を見据えた医療政策の抜本的な見直しが急務である中、医薬品の安定供給やドラッグロス／ラグの問題にも早期の対応が必要な状況にあります。また、創薬力を有する数少ない国のひとつとして、これまで以上に製薬企業とアカデミア、スタートアップ企業やCRO、CDMO等が連携し、革新的新薬の創薬が求められています。医薬品産業を国家戦略上の「基幹産業」に位置付けるとの動きがある中で、我々PI フォーラム参加各社が一層、新たな価値を創造し、その一翼を力強く担うべく、取り組みを推進していきたいと考えます。当会で各会員企業が薬事行政の最新動向を迅速に把握するだけでなく、それぞれの強みを生かし協力関係を深めるとともに、従来の医薬品産業の枠にとらわれず、ヘルスケア関連企業との連携の輪を広げていくべく、本会を発展させて行きたいと考えております。

最後になりますが、会員企業の益々のご発展を祈念しますとともに、より一層のPI フォーラムへのご理解と各種活動へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2024年7月

医薬品産業情報研究会の概要

■ 設立の背景

医薬品産業・医療関連産業に異業種から参入する企業が、事業推進・研究開発を進めるにあたり、厚生労働省を始め、関連行政機関、薬業団体からの情報収集がスムーズに行えない状態にありました。このような背景の中で、これらの問題に関心を持つ企業が相集い、情報収集や調査・研究を行う組織として厚生労働省の協力を得て平成3年1月「医薬品産業情報研究会（略称：PI フォーラム）」を発足させました。

■ 名 称

医薬品産業情報研究会（略称：PI フォーラム）
Pharmaceutical Industry Forum

■ 設立年月日

平成3年1月30日

■ 目 的

本会は、医薬関連企業及び医薬品産業等に参入を目指す企業により構成し、厚生労働省、在ニューヨーク厚生関係事務所を始めとする関係行政機関等と国内及び国際的な情報・意見交換を行うとともに、会員相互間での情報交換及び共同調査・研究等を行うことを通じて、会員各社の情報・研究機能の充実に寄与する。

■ 活 動

- (1) 医薬品産業、医療関連産業等の諸産業及びこれらに関する諸制度等の情報収集及び調査・研究
- (2) 厚生関係共同事務所運営協議会を通じて、米国における医薬品産業、医療関連産業等の諸産業及びこれらに関する諸制度等の情報収集及び調査・研究
- (3) 研究会、研修会等の開催
- (4) 関係行政機関及び諸団体との交流
- (5) その他本会の目的達成に必要な事項

■ 会 員

会員は、原則として医薬関連企業及び医薬品産業等に参入を目指す企業

■ 運 営

- (1) 運営費用は主として会員会社からの年会費をもって充てる。
- (2) 活動は、運営委員会、各委員会及び各分科会で立案し、総会、役員会の承認を得て実施する。

役員・運営委員会委員・会員企業

役員

会 長	藪 根 英 典	(EAファーマ株式会社 代表取締役社長)
副 会 長	島 田 博 史	(日本化薬株式会社 常務執行役員)
副 会 長	種 田 正 樹	(帝人ファーマ株式会社 代表取締役社長)
理 事・ アドバイザー	箕 浦 公 人	(ニプロ株式会社 常務取締役)
理 事	青 木 喜 和	(旭化成ファーマ株式会社 代表取締役社長)
理 事	大 澤 豊	(協和キリン株式会社 代表取締役副社長)
理 事	石 綿 紀 久	(日産化学株式会社 執行役員)
監 事	里 見 昌 彦	(株式会社ヤクルト本社 執行役員)

運営委員会委員

委 員 長	中 西 敬	(EAファーマ株式会社)
副委員長	吉 田 貴 幸	(日本化薬株式会社)
副委員長	橋 本 真 人	(帝人株式会社)
委 員	平 岡 秀 仁	(旭化成ファーマ株式会社)
委 員	和 歌 健	(株式会社 ヤクルト本社)
委 員	高 儀 良 一	(生化学工業株式会社)
委 員	稲 田 英 朗	(東レ株式会社)
委 員	佐 野 元 康	(日本たばこ産業株式会社)
委 員	清 水 孝 紀	(日産化学株式会社)
委 員	鈴 木 正 行	(ニプロ株式会社)

会員企業

－ 2024年7月1日現在 33社 －

旭化成ファーマ株式会社	味の素株式会社	アルフレッサファーマ株式会社
EAファーマ株式会社	大塚製薬株式会社	カネダ株式会社
キューピー株式会社	協和キリン株式会社	株式会社 クレハ
興和株式会社	佐藤製薬株式会社	サンスター株式会社
生化学工業株式会社	全薬工業株式会社	ダイドーフファーマ株式会社
大日本印刷株式会社	田辺三菱製薬株式会社	帝人ファーマ株式会社
テルモ株式会社	東レ株式会社	日産化学株式会社
日東電工株式会社	ニプロ株式会社	日本化薬株式会社
一般社団法人 日本血液製剤機構	日本たばこ産業株式会社	日本農薬株式会社
株式会社 富士薬品	マグミット製薬株式会社	マルホ株式会社
株式会社ヤクルト本社	UBE 株式会社	ロート製薬株式会社

医薬品産業情報研究会の具体的な活動

■ 定例研究会

PI フォーラム活動の基幹である。医薬品産業、医療関連産業等の諸産業及びこれらに関係する諸制度に関する研究会を開催している。

■ 医薬事業委員会

経営視点での外部情報摂取・意見交換を介して会員各社の事業運営に資することを目的に活動を行っている。
医療行政から経営戦略、人的資源管理に至るまで、各界有識者を招聘し意見聴取するほか、医薬医療領域にとどまらず、種々の企業や公的研究機関等の実地踏査を通じ、異業種・異ビジネスモデルからも幅広く学びを得る場となっている。

■ 研究開発委員会

研究開発に関する事項及び研究開発を取り巻く事項について、産・官・学界の調査、情報収集、研究を行う事を目的として研究活動を行っている。

■ クオリティー分科会

医薬品（治験薬含む）の品質に関わるレギュレーション全般の情報の取り扱い、評価及び報告に関する情報交換や研究等を通じ、会員企業の適切な品質管理業務の推進に資する活動を行っている。

■ セイフティー分科会

レギュレーションの中で安全性に関する全般的な研究を行うこととし、最新技術情報の紹介、規制動向の調査、事例検討を中心とした活動を行っている。

■ エフィカシー分科会

臨床評価・臨床開発に関する幅広い研究を行うこととし、国内・国外の臨床試験、行政機関との対応及び CRO・SMO に関する情報交換を中心とした活動を行っている。

■ PMS 分科会

医薬品及び医療機器等の安全管理に関わる情報の取り扱い、評価、報告並びに製造販売後調査等に関する情報の収集に関して意見交換、研究等を通じ、会員企業の適切な安全管理業務の推進に資する活動を行っている。

■ 薬事分科会

会員各社が業務を行う上で得た知見や経験を紹介し、相互に薬事的検討・協議・研究を行うことで、情報の共有化と薬事知識の研鑽に励む活動を行っている。

■ ヘルスケア分科会

健康管理、すなわち消費者のライフスタイル、生活習慣、加齢等に伴って生じる心身の不調・機能低下の改善や予防、未病対策、更に医療現場における代替・補完医療等、「QOL の向上」につながる OTC、サプリメント、特保・栄養機能食品、機能性表示食品等の研究開発、マーケティングおよび法規制についての情報収集、意見交換を行い、会員各社の企業活動に資する活動を行っている。

■ 薬価分科会

薬価基準及び医療保険制度に関する事項について調査・研究を行うとともに、会員企業間の情報・意見交換、官・関係団体等との情報交換を目的に活動を行っている。

■ 生産分科会

医薬品（原薬・製剤）生産全般に関する事例研究や情報交換、工場見学を通じて、会員企業の生産活動に有用な情報の共有化を図っている。

■ 情報提供活動に関する制度分科会

各分科会でのテーマ以外の最新の制度や関係規範における各社の対応や取り組み等の情報共有および検討する場とする。

■ PI フォーラムニュースレターの発行

会報として「PI フォーラムニュースレター」を年 2 回発行している。

事務局

EAファーマ株式会社

〒104-0042

東京都中央区入船二丁目1番1号 住友入船ビル

TEL:080-4717-6145

E-mail:piforum@piforum.jp